



福岡医発第 769 号 (地)
令和 2 年 6 月 9 日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 松 田 峻一良
(公印省略)

「STOP! 転倒災害 みんなでやろう安全点検」の取組について

時下 貴職ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

標記の件につきまして、別添のとおり福岡労働局より通知がありましたのでご連絡申し上げます。

令和元年の福岡県内の労働災害につきましては、休業 4 日以上之死傷災害が 5,381 人と、前年と比べ 199 人 (前年比 3.6%) の減少となっており、このうち、転倒災害が 1,206 人と、前年と比べ 164 人 (前年比 12.0%) の減少になりましたが、過去 5 年間の転倒災害発生件数の動向をみると、令和元年は対平成 27 年比で 7.3% 増と緩やかに増加しています。

転倒災害は、死傷災害の中でも災害件数が最も多く、厚生労働省では、労働災害防止のための重点的施策の一つとして、平成 28 年 1 月から「STOP! 転倒災害プロジェクト」を主唱し、各事業場における転倒災害防止運動の展開を図っているところです。また、今後も、就業構造の変化及び働き方の多様化に適応した対策の推進として、災害の件数が増加傾向にある災害への対応と位置付けられ、災害の減少を図っていくことが必要となります。

福岡県内の事業場に対して昨年は、転倒災害防止・総点検運動「STOP! 転倒災害 ハザードチェック」を実施し一定の成果が見られましたが、長期的にみると緩やかに増加しており、憂慮すべきところは変わりありません。

このような状況を踏まえ、福岡労働局においては、令和 2 年 6 月 (安全週間準備期間) から令和 3 年 2 月 (積雪や凍結による転倒災害の多発時期) までの毎月 1～7 日を転倒災害防止のためのチェック項目を点検する週間と定め、「STOP! 転倒災害 みんなでやろう安全点検」の取組を推進することといたしました。

つきましては、別紙のリーフレット配布等により、貴会会員への周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、リーフレットは福岡労働局のホームページにも掲載予定とされておりますので、必要に応じてダウンロードの上、ご活用ください。

掲載先：福岡労働局ホームページ

<https://jsite.mhlw.go.jp/fukuoka-roudoukyoku/>

お役立ち情報>パンフレット・リーフレット>労働安全関係>「STOP! 転倒災害 みんなでやろう安全点検」



福岡労発基 0601 第 1 号

令和 2 年 6 月 1 日

公益社団法人 福岡県医師会

会長 殿

福岡労働局長



「STOP! 転倒災害 みんなでやろう安全点検」の
取組について(協力要請)

令和元年における福岡県内の労働災害は、休業4日以上之死傷災害が5,381人で前年の5,580人と比べ、199人(前年比3.6%)の減少になりました。このうち、転倒災害は1,206人で前年の1370人と比べ、164人(前年比12.0%)の減少になりましたが、過去5年間で転倒災害発生件数の動向をみると、令和元年は対平成27年比で7.3%増と緩やかに増加しています。

転倒災害は、死傷災害の中でも災害件数が最も多く、厚生労働省では、労働災害防止のための重点的施策の一つとして、平成28年1月から「STOP! 転倒災害プロジェクト」を主唱し、各事業場における転倒災害防止運動の展開を図っているところです。また、今後も、就業構造の変化及び働き方の多様化に適応した対策の推進として、災害の件数が増加傾向にある災害への対応と位置付けられ、災害の減少を図っていくことが必要となります。

福岡県内の事業場に対して昨年は、転倒災害防止・総点検運動「STOP! 転倒災害ハザードチェック」を実施し一定の成果が見られましたが、長期的にみると緩やかに増加しており、憂慮すべきところは変わりありません。

このような状況から、福岡労働局では、本年度も引き続き、転倒災害を減少させることを目的とした災害防止活動を推進して参ります。

つきましては、令和2年6月(安全週間準備期間)から令和3年2月(積雪や凍結による転倒災害の多発時期)までの毎月1日から7日を転倒災害防止のためのチェック項目を点検する週間と定め、「STOP! 転倒災害 みんなでやろう安全点検」の取組を推進することとしましたので、別添のリーフレット(福岡労働局HP掲載)の配布、貴団体HPへの掲載等により、貴団体の会員事業場に対し、周知いただくとともに、同リーフレットを活用して会員等の皆様に転倒災害防止のための点検を実施していただきますよう働きかけをお願いします。

STOP! 転倒災害 みんなでやろう安全点検!

～ すべての年代に応じた、転倒災害防止のための環境づくりを目指して ～

福岡版

取組期間: 令和2年6月～令和3年2月

STOP! 転倒災害プロジェクト



特徴 1

転倒災害 は、最も多い労働災害で全体の**2割強**を占め、近年は緩やかな**増加傾向**にあります。

令和元年に県内で発生した転倒災害による死傷者数は1,206人で、昨年よりも減少しているものの、過去5年間で見ると、緩やかに増加していると言えます。令和元年は対平成27年比**7.3%増加**。

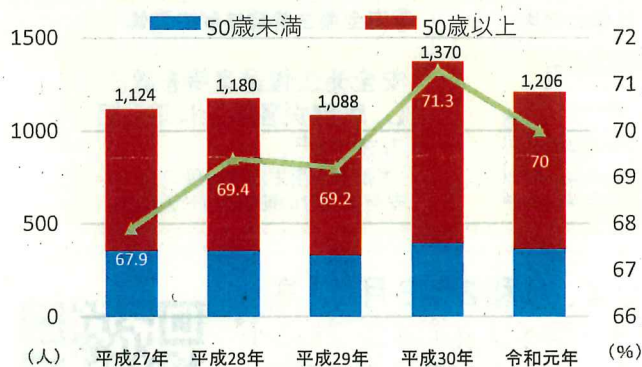


出所: 労働者死傷病報告



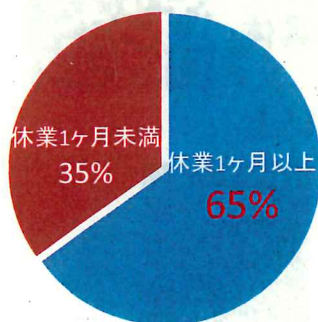
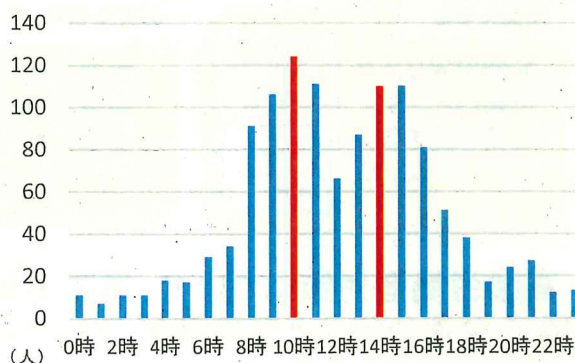
特徴 2

転倒災害
被災者の約**7割**が**50歳以上**です。
また高齢となるほど転倒するリスクが高くなります。



特徴 3

転倒災害
午前10時、午後2時前後
に多発しています!



特徴 4

転倒災害
休業期間: 1ヶ月以上が65%!





転倒災害【主な原因】

転倒災害の主な原因は、「**滑り**」「**つまずき**」「**踏み外し**」です。



転倒災害【防止対策】

1. **毎月1～7日**に決まって、**セーフティーチェック**を実施し、どの年代も安心して働くことができる職場環境づくりを目指してください！

セーフティチェック項目		✓
1	通路、階段、出入口に物を放置していませんか	☐
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	☐
3	安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が確保されていますか	☐
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	☐
5	作業靴は、作業内容に適した耐滑性があり、かつ、サイズが合うものを選んでいませんか	☐
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	☐
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などを標識などで注意喚起していますか	☐
8	ながらスマホやポケットに手を入れたまま歩くこと、手すりを持たない階段の昇降などを禁止していますか	☐
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	☐

2. 転倒の**原因を低減するため取組**を積極的に行いましょう！

スライド つまずき スタンプリング
ステッピングアウト

リスク低減のポイント！ 転倒の主な原因は、**滑り**(Slide)、**つまずき**(Stumbling)、**踏み外し**(Stepping out)の**3S**

令和元年に「STOP！転倒災害 ハザードチェック」を推進した結果、「ステッカー張り付けや危険マップの作成(危険の見える化)」や「**転倒予防の教育の実施**」「**転倒防止体操**」など、転倒災害防止のための取組みが**低調**であること、また、労働者数10人～49人の事業場規模で、**安全衛生推進者(安全推進者、衛生推進者)**が選任されていない事業場が多いことが明らかとなっています。(50人以上の場合は安全管理者及び衛生管理者の選任が必要です。)

各事業場におかれましては、以下の3つの積極的な取り組みが求められます。

①見える化

転倒災害リスクが高いところに注意を促す表示を行いましょう。



②安全教育・ストレッチ体操の実施

転倒予防の教育・転倒防止体操等を実施しましょう。



③安全衛生管理体制の整備

安全衛生推進者等を選任し、転倒災害防止に取り組みましょう。
(労働安全衛生法第12条の2、安全推進者の配置ガイドライン)

3. 高齢労働者対策について、厚生労働省では、令和2年3月に「**高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン**」(エイジフレンドリーガイドライン)を策定しました。このガイドラインは、高齢者を現に使用している事業場などで、事業者と労働者に求められる取組を具体的に示したものですので、是非ご活用ください。



4. 活用できる**資料**を紹介します。教材としてぜひお役立てください！

職場のあんぜんサイト
転倒災害視聴覚教材



健脚ぐるぐる体操

